

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	三橋 勝則	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3389		事務事業名称	読書教育推進事業					短縮コード	経常	3389	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校教育法第85条、学校図書館法第4条第2項、第6条、子どもの読書活動の推進に関する法律						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
児童生徒の読書活動の充実のために読書感想文コンクール、図書主任会（H20主任研修会）、読書指導員の配置を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
読書指導に関する研修の充実が望まれている。県の読書感想文コンクールへ代表作品を出品する。平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布,施行された。						大項目（節）	01	学校教育					
						中 項 目	02	義務教育					
						小項目（施策）	02	教育内容の充実					
						細 項 目	01	学習・生徒指導の充実					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小中学校図書主任、小中学校児童生徒及び教員						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 各学期に1回の図書主任研修会開催。読書感想文集「やちよ」作成。小学校22校に読書指導員を配置。						
	※平成20年度に計画していること： 読書指導員配置を小学校22校、中学校11校全てに配置する。						
意図 （何を狙っているのか）	図書主任の資質の向上。児童生徒を読書に親しめるとともに、基礎学力の向上を図る。児童生徒の読書活動の充実。教員の読書指導に対する見識を高め、推進を図る。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	各学校図書主任数	人	32	33	33	33
	指標2	読書指導員配置校児童数	人	11,532	11,307	11,594	16,283
	指標3	小中学校児童数	人	15,381	15,834	15,985	16,283
活動指標	指標1	参加図書主任数	人	32	33	33	33
	指標2	各校図書貸出数	冊	63,000	70,000	60,647	65,000
	指標3	読書感想文応募総数	点	8,032	8,032	8,809	8,800
成果指標	指標1	参加図書主任数／各学校図書主任数	%	100	100	100	100
	指標2	読書感想文応募総数／児童生徒数	%	52.3	50.8	55.2	54.1
	指標3	各学校図書貸出冊数／指導員配置校児童数	冊	5.5	6.2	5.3	4
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3389	事務事業名称	読書教育推進事業			所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成２０年４月より、２２名の読書指導員を市内全小中学校３３校に配置している。児童が活用しやすい学校図書館の整備だけではなく、児童への読み聞かせやブックトークによる読書活動の推進、教科指導の中での調べ学習への助言等、大きな成果をあげている。今後、小中学校に各１名の配置（３３名）の配置も含め、さらなる児童、生徒への読書活動の推進について現存の体制の中で研究していきたい。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			思考力の醸成、豊かな心の育成の一助として、読書活動の充実が求められるため
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
読書教育推進の核となる各校図書主任の資質の向上が望まれている。読書の効果が再認識され、学校や図書館における読書教育や読書活動のますますの充実が望まれている。	

所属長コメント	読書教育を推進する事は今後も高まってくると考えられる。読書指導員の配置については、今後も継続するとともに、より有効な活用に向けて研究していきたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		